



第44号

平成26年1月15日発行
日本獣医生命科学大学
同窓会
東京都武蔵野市
境南町1-7-1
発行者 中條眞二郎
直通電話・FAX
0422-33-2916
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
URL http://nvlu-dosokai.academic-sol.com/

新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学同窓会会長
中條 眞二郎



新年を迎え同窓生の皆様、おめでとう御座います。本年の干支が午年、颯爽と草原を走る馬を連想し、会員皆様の活躍を期待しております。

「130周年記念合同教育棟の役割」
130周年記念棟の完成間近となり、当分は中央線から目立つ七階建ての高い建物として、乗客の目を引くことになるかと思われまます。

学校法人日本医科大学に合併した当初、予科といわれた教養課程があり、専門課程から日本医科大学あるいは日本獣医畜産大学に進学を迫る時代があり、武蔵境校舎で机を共に過ごされた先輩方もおられます。当時の社会環境、経済状況など現在と比べ

ようもないほど、全く異なった状況での共学だったのではないかと思います。当時の両過程の学生生活など、どうであったのか、知る由しはありませんが、日本獣医生命科学大学の学生と日本医科大学の学生が、約半世紀を経て再び今春四月から本棟で共に過ごすことになりました。母校は、近年三学科と獣医学部に併設した獣医保健看護学科の新設と学内改革が行われました。二大学が同一校舎で運営する試みは余り聞きませんが、友好と協調が図られ両大学にとって研究・教育の上で知識人の知恵を絞り、相乗効果があることを願って止みません。

新校舎になって期待されるのは、応用生命科学部の動物科学科、食品科学科が同一の建物内に収まり、両学科の学生と教員の交流が図られる環境となりましたので、一層の発展が期待されます。

「学生の福利厚生施設の新設」
合同教育棟地下に、道場を含む室内の厚生施設が新設されます。武道場の新設は、OB会にとって大変嬉しいことではないでしょうか。文武両道の伝統を引き継ぐ柔道部・空手部・剣道部が新しい道場ができた

ことで活躍が楽しみです。道場開きをOB会で行うのはどうでしょうか。また、室内競技の卓球場とダンスを行える施設もできます。それに伴い新しい室内のクラブ活動も盛んになると思います。

「同窓会館設置」

念願の同窓会館設置は、合同教育棟内に現在の事務部が本館から移転します。移転後の本館の活用は、学内の委員会で検討することになっていきますので、同窓会に同窓会館として相応しい部屋の貸与の要望を関係者に働きかけております。要望内容は、同窓会事務所、関係資料を保管する場所、同窓生が来校したときの応接室などを考えております。

「130周年記念会誌」

創立130周年記念特集号が皆様のお手元に届いたことと思います。本特集号は、寺田厚、吉田孝治両理事の多大な努力によって成し遂げられた冊子です。会誌としては、第二十九号ですが過去の本会会誌配布は、同窓会の財政上会費納入者だけにしか配布することが出来ませんでした。そのような事情から会誌を持っている方は少ないのではないのでしょうか。今回の記念誌は同窓会と母校の歴史を短編的に一読して貰えるような内容としました。会員に同窓意識を持って頂くことも同窓会活動として大事なもので、名簿の配布同様に住所の確認される方々一万余名に送らせて頂きました。改め

「会則改正について」

二学部四学科の同窓会のあり方をこの十年以上検討して参りました。四学科に共通する会則であるべきことを主眼として検討しております。しかし現実には、会費納入者の割合を無視出来ない等の事情もありますので、諸々の事情を加味して会則改正を図りたいと考えております。

会則改正も大切ですが、昭和四十二年に食品工学科設置。昭和四十三年に畜産経営学科の再開と五十周年記念行事を行いたいと考えております。各学科の同窓生が一同に会することはどうでしょうか。学内の両学科の先生方の意見も聞き開催の準備を進めようと考えておりますが、開催するならばやかな会になること願っております。

「紫雲の時」

130周年を記念して同窓会から寄贈した時計に池本学長が標記名を付けて下さり、D棟四階部に設置、未来を刻む時計になります。

平成25年度 日本獣医生命科学大学 同窓会代議員会開催される

平成25年7月27日(土)、午後12時30分より母校B棟5階第512講義室において開催された。

司会は常務理事の吉田孝治氏が努め、開会に先立ち昨年度ご逝去された会員へ黙祷がなされた。

←中條会長挨拶



来賓として池本卯典学長、学校法人日本医科大学佐藤雄三理事の2名、顧問の鈴木昭氏、常務理事12名、理事17名、監事3名、代議員61名(登録代議員64名)およびオブザーバー15名が参加した。

中條会長挨拶

大学も年々変わり、来年度の代議員会は新棟で行います。学校経営も時代と共に変化し、平成26年の4月から日医大の基礎科学課程学生も一緒にこのキャンパスで勉強します。

本会の構成会員が4学科の卒業生と多様化している状況で、会則改正を来年度の代議員会で審議して頂きたい。また、卒業生の半数以上が女性である現状から、女性代議員を増やしていかなければなりません。

130周年事業の建物は、地下に武道館等の学生の福利厚生が整います。しかし、グラウンドがなくなり、フィールドのクラブは廃部に追いつまれています。そこで、田無に運動場を作るため体育会出身の方々に発起人になって頂き、積極的に母校へ協力する方針です。再度、皆様をお願い状を送りますので、皆さんの援助をお願いします。130周年記念同窓会誌を作りまし

た、この会誌は、歴史、同窓会、大学の変遷、支部会の活動など80ページほどで、全会員登録住所へ送付します。

来賓挨拶 学校法人日本医科大学佐藤雄三理事

2週間前に本学のオープンキャンパスがあり、非常に多くの方が来ていました。オープンキャンパスは国立大も含め、少子化の中で学生を集めるための一環として開催しているのが現状です。以前の校舎だと恥ずかしい思いでしたが、最近は校舎・教員共に胸を張ってお披露目できる学校になったことは、池本学長が法人といい関係にあるからであると思います。680人の参加者が来てくれたことは、将来明るいと思うのでこれからもよろしく願います。

日本獣医生命科学大学池本学長

ゴミだらけの校舎だった頃が大変先生方にとって懐かしいと思います。変わったことと良いことなのか。時代の要請に応え、21世紀の大学として形が整ったということかもしれません。合同教育棟の地上7階地下2階には獣医保健看護学科、動物科学科、食品科学科が入り、114名の医学部の学生が来る。校庭がなくなったが、東大の田無農場を11月に買い、馬場、厩舎、運動場建設を予定している。本学は学生の大学評価は高く日本一である。大学の発展に欠かせないのは同窓会と父母会で、出資者の意味でスベークホルダーと言われている。

る。皆さんが築いたものが財産である。

議長選出 会則に従い代議員の中から候補を募ったが挙手がなく、事務局一任となり中條会長より、埼玉県代議員山岸敦郎氏と、京都府代議員長谷川修一氏が指名され、拍手で承認された。

書記および議事録書名人選出 書記は事務局から 宇田川智野女史(日本獣医生命科学大学大学院生)、署名人には大学支部代議員の左向敏紀氏、川角浩氏が指名され拍手で承認された。

議長の着席、自己紹介後審議が始まった。

第1号議案平成24年度事業報告 総務担当 相見和宏理事より報告があった。

昨年、念願でありました母校発祥の地護国寺に、私立獣医学校開学の記念碑を建立することができました。

この碑は、近代獣医学の幕開けとなった我々の先駆者の功績を讃えんと共に、私立獣医系大学の開祖の証ともなります。

また、護国寺様のご好意により碑の建立に最適な場所をご提供頂きましたことに、改めて御礼を申しあげます。

平成22年度からの130周年記念事業は継続となっておりますが、本年度は同窓会の懸案であった開学記念碑建立に奔走しました。他の事業は手抜いたのでありませんが、記念事業の合同教育棟建設への支援協力などについて推進させる努力をしてお

ります。何卒皆様方のご理解を頂きたいと思ひます。

会則改正については、学科の増設に伴った会員の多様化による同窓会の基本方針を役員会で十分に検討しております。次年度には文書化された案の提示を予定しています。

念願である同窓会館設置の計画は、母校事務部の合同教育棟への移転後に、本館の一部を同窓会へ提供頂けるスペースがありますので、近々には念願が叶うかと思ひます。

実施事業

1 平成24年度代議員会 平成24年7月

21日(土)午後1時より、母校B棟三

階、第313講義室にて開催。終了後

母校「ムラサキ」にて懇親会開催

2 役員会および各種委員会の開催

3 主な行事への参加

4 支部会への派遣 19支部・2連合会

へ派遣

支部名 派遣役員 期 日

島根県 中條会長 平成24年7月7日(土)

千葉県 池本学長 平成24年7月8日(日)

大阪府 中條会長 平成24年7月28日(土)

九州連合 多川先生 平成24年8月25日(土)

兵庫県 中條会長 平成24年9月1日(土)

四国連合 中條会長 平成24年9月8日(土)

新潟県 池本学長 平成24年9月8日(土)

茨城県 中條会長 平成24年9月28日(金)

神奈川県 宮崎理事 平成24年10月8日(月)

埼玉県 池本学長 平成24年10月8日(月)

広島県 寺田理事 平成24年10月14日(日)

山梨県 新井先生 平成24年10月26日(金)

佐賀県 中條会長 平成24年11月11日(日)

熊本県 片岡先生 平成24年11月17日(土)

長野県 紺野氏 平成24年11月24日(土)

岐阜県 左向先生 平成24年11月25日(日)

福島県 中條会長 平成24年11月25日(日)

栃木県 池本学長 平成24年12月1日(土)

静岡県 寺田理事 平成24年12月8日(土)

京都府 中條会長 平成25年3月16日(土)

三重県 中條会長 平成25年3月31日(日)

5 会報43号発行 平成25年1月15日、

10、326名へ送付

6 大学への支援 梅野信吉賞受賞者に

副賞を贈呈

7 学生(準)会員への事業

(1) 入学祝い

(2) 卒業記念

(3) 同窓会長賞

(4) 大学祭への支援

(5) 就職支援活動

第2号議案平成24年度収支決算 経理担当

寺田厚理事より報告があった。

平成24年度一般会計収支計算書(別表参照)

平成24年度特別会計収支計算書(別表参照)

財産目録(別表参照)

監査報告は、武富氏、針谷氏、栗本氏の3

名の監事より業務ならびに会計が正しく施

行されているとの監査報告があった。質疑応答は、1号議案、2号議案については特になく、拍手で承認された。

第3号議案平成25年度事業計画 総務担当

相見和宏理事より説明があった。

130周年記念事

業合同教育棟の進捗

状況は、地下部分か

ら地上階への建設が

進み、本年の夏休み

頃には高層の外観が

立ち上がるよう

です。合同教育棟には

来年4月から学生を

受け入れる予定であ

ります。

本事業の目的は、

新設された獣医保健

看護学科の教育・研

究施設と、第2校舎

の老朽化による応用

生命科学部(食品科

学科と動物科学科)

の移転、さらに日本

医科大学の武蔵小杉

キャンパス再開発に

伴う医学部基礎科学

課程の武蔵境への移

転が予定されています。そのため、当初予定の5階建てが7階建てと高層になり、仮称が合同教育棟になりました。合同教育棟建設は日本医科大学との合同事業となり、日本医科大学同窓会も寄付運



代議員会会場

動に支援・協力しており、法人を挙げての事業となっており、合同教育棟の事業期限が迫っておりますが、本会として本年度も継続して支援・協力の寄付活動を推進致します。恐縮ですが同窓生皆様へさらなるお願いをする所存であります。

実施事業予定

- 1 平成25年度代議員会 平成25年7月27日(土) 母校B棟5階512講義室にて開催
- 2 母校創立130周年記念事業の寄付活動の継続推進
- 3 同窓会館設立の準備
- 4 会則改正の具体案の作製
- 5 役員会および委員会等の開催
- 6 支部強化活動
 - (1) 支部会への役員派遣
 - (2) その他
- 7 同窓会誌 130周年記念誌発行
- 8 同窓会報44号発行
- 9 大学への支援
 - (1) 梅野信吉賞への協賛
- 10 学生会員(準会員)への関連事業
 - (1) 入学祝い
 - (2) 卒業祝い
 - (3) 同窓会褒賞者の表彰・記念品の贈呈
 - (4) 大学祭への援助
 - (5) 奨学生候補者の選考
 - (6) 就職活動支援

平成25年度新理事・監事

北海道	奥村 哲夫
東北	菊地 久
関東・甲州	田所 喬樹
	塚田 明
	小沼 誠
	石崎 孝久
東京	水谷 渉
	君島 貞完
	天野 三幸
	野田 宗兵
	中條 眞二郎
	斉藤 茂芳
東海・信越	吉田 孝治
	本橋 博
	寺田 厚
	荻野 勇
	湯本 典夫
	新井 敏郎
北陸	星 邦夫
	小川 俊男
近畿	吉田 善照
中国	佐藤 正勝
四国	高田 三千人
九州・沖縄	平尾 勝行
	中村 完治
動物科学科	西谷 次郎
	高梨 庸市
	小磯 孝
食品科学科	阿久沢 良造
	山内 直文
会長推薦	藤田 満
	小暮 一雄
	作佐部 隆
監事	清水 一政
	針谷 光二
	栗本 卓夫
	宮崎 勇吉

第4号議案平成25年度収支予算

経理担当寺田厚理事より説明があった。

平成25年度一般会計収支予算書

別表参照

平成25年度特別会計収支予算書

別紙参照

第3号議案、4号議案についての質疑

が、神奈川県代議員高品和房氏より今年度の予算に、記念碑に関する維持等に関する予算が含まれていないが対策は？また支部助成費が少なすぎるのではとされた。

中條会長から、記念碑は次代の関係者に負担が掛からないようにするため、護国寺側と協議し特別に年間の管理費用は基本的にはなしとしたが、護国寺で行事を行うような場合はお布施として常識的範囲で包めばよいのではないかと考えている。支部への支援については、今の予算は入金金無しでは成り立たない。年会費は2000名し

か払っていない。全員に会誌を送るなどの大きなことに使用し、お金は有効に使ってきたい。

続いて、香川県平尾勝行理事より、県による会費納付率の差については、同窓生がいないのか、納付してくれていないのか、どのような工夫をとっているか。名簿が1冊しか送られてこないのか夫婦は一人分しか納めなくていいという意見もある。

中條会長から、夫婦に2冊送っても仕方ないのでそうしていたが。また名簿では夫婦の判別は難しい。以前は納付率が良かったが、若い方はあまり関心がなく、今年払った2000人は年配者で毎年払っている人が多い。集め方を工夫しなくてはならない。入金金のみで予算を組んでいるのでは発展が望めない。第3号議案、第4号議案は拍手で承認された。

第5号議案役員改選

会則に沿って役員改

正がおこなわれ、地区の推薦委員が新理事を議長に報告した。司会者より新理事の発表が有り、拍手で承認された。

新理事の互選により会長の留任が決定された。

議長 以上すべての議事が承認されました

ので、これをもちまして議長の役目を終了します。ご協力ありがとうございました。

閉会 司会者より、以上をもって平成25年度代議員会を閉会するとの宣言がされ、終了した。

第 2 号議案 平成24年度収支決算

平成24年度一般会計収支計算書

平成24年 4 月 1 日から平成25年 3 月31日まで

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1 同窓会費収入, 2 入会金収入, 3 諸収入, 受取利息, 寄付金, 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越金, 収入合計(B).

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1 事業費 (会誌発行費, 会報発行費, 事業推進費, 支部助成費, 学生会員援助費, 学術振興費, 就職対策費, 渉外費, 慶弔費, 東日本災害支援金, 記念事業費), 2 会議費 (代議員会議費, 役員会議費), 3 事務費 (事務手当, 旅費, 印刷費, 通信費, 振替・振込手数料費, 器具備品費, ホームページ管理運営費, 消耗品費, 雑費), 4 特別会計繰入金 (名簿発行引当金, 同窓会館積立引当金, 奨学基金引当金, 退職給与引当金, 減価償却引当金), 5 固定資産取得費 (パソコン一式, 記念碑取得), 6 予備費, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

平成24年度特別会計収支計算書

平成24年 4 月 1 日から平成25年 3 月31日まで

(収入の部) (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1. 繰入金収入, 2. 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(積立金別の収入明細) (単位:円)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行, 同窓会館, 奨学基金, 退職給与, 減価償却. Rows include 1. 繰入金収入, 2. 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(支出の部) (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1. 繰入金取崩, 2. その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

(積立金別の支出明細) (単位:円)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行, 同窓会館, 奨学基金, 退職給与, 減価償却. Rows include 1. 繰入金取崩, 2. その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

財産目録

平成 25 年 3 月 31 日

(単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include I. 資産の部 (流動資産, 固定資産), II. 負債の部 (流動負債, 固定負債), 正味財産.

平成 24 年度監査報告書

平成 24 年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成 25 年 4 月 28 日母校において厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成 25 年 4 月 28 日

監事 武富和夫 印
監事 針谷光二 印
監事 森本卓夫 印

第 4 号議案 平成25年度収支予算

平成25年度一般会計収支予算書

平成25年 4 月 1 日から平成26年 3 月31日まで

(単位：円)

収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 同窓会費収入	7,200,000	7,380,000	△ 180,000	本年度 2,100 口、過年度 300 口
2 入会金収入	19,450,000	19,250,000	200,000	50,000 円× 389 名
3 諸収入	69,600	23,000	46,600	
受取利息	19,600	3,000	16,600	
寄付金	10,000	10,000	0	
雑収入	40,000	10,000	30,000	
当期収入合計 (A)	26,719,600	26,653,000	66,600	
前期繰越金	10,796,454	13,926,131	△ 3,129,677	
収入合計 (B)	37,516,054	40,579,131	△ 3,063,077	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 事業費	17,700,000	21,000,000	△ 3,300,000	
会誌発行費	4,500,000	3,500,000	1,000,000	会誌印刷、発送等
会報発行費	2,800,000	2,000,000	800,000	会報印刷、同窓会ニュース、発送等
事業推進費	1,000,000	200,000	800,000	各学科への援助
支部助成費	700,000	700,000	0	45 支部
学生会員援助費	4,200,000	4,200,000	0	入学祝品 140 万円、卒業祝品 150 万円、大学祭 70 万円、表彰 10 万円
学術振興費	800,000	900,000	△ 100,000	母校学術交流会、梅野賞 30 万円等
就職対策費	200,000	200,000	0	学生会員就職対策
渉外費	300,000	300,000	0	法人母校等との折衝費
慶弔費	200,000	200,000	0	本学教職員祝品、弔事等
東日本災害支援金	2,000,000	2,000,000	0	岩手、宮城、福島等
130周年関連事業費	1,000,000	0	1,000,000	中庭に時計設置等
記念碑建立整備費	0	6,800,000	△ 6,800,000	護国寺に本学発祥の碑建立等
2 会議費	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000	
代議員会議費	3,500,000	4,000,000	△ 500,000	代議員旅費等
役員会議費	500,000	1,000,000	△ 500,000	役員旅費等
3 事務費	5,710,000	5,600,000	110,000	
事務手当	3,000,000	3,000,000	0	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅費	1,600,000	1,500,000	100,000	支部派遣
印刷費	200,000	200,000	0	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	300,000	300,000	0	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	300,000	300,000	0	事務機器等
ホームページ管理運営費	10,000	0	10,000	
消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品類等
雑費	100,000	100,000	0	残高証明等
4 特別会計繰入金	9,454,202	8,311,759	1,142,443	
名簿発行引当金	2,000,000	2,000,000	0	
同窓会館積立引当金	7,000,000	6,000,000	1,000,000	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
退職給与引当金	102,200	102,200	0	
減価償却引当金	342,002	199,559	142,443	
5 予備費	651,852	667,372	△ 15,520	
当期支出合計 (C)	37,516,054	40,579,131	△ 3,063,077	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 10,796,454	△ 13,926,131	3,129,677	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0	0	

平成25年度特別会計収支計算書

平成25年 4 月 1 日から平成26年 3 月31日まで

(単位：円)

(収入の部)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金収入	9,454,202	8,311,759	1,142,443	
2. 雑 収 入	17,200	281,550	△ 264,350	
当期収入合計 (A)	9,471,402	8,593,309	878,093	
前期繰越額	84,027,049	75,328,833	8,698,216	
収入合計 (B)	93,498,451	83,922,142	9,576,309	

(積立金別の収入明細)

(単位：円)

科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金収入	2,000,000	7,000,000	10,000	102,200	342,002
2. 雑 収 入	630	15,400	1,100	70	0
当期収入合計 (A)	2,000,630	7,015,400	11,100	102,270	342,002
前期繰越額	4,012,012	68,078,001	7,088,354	491,939	4,356,743
収入合計 (B)	6,012,642	75,093,401	7,099,454	594,209	4,698,745

(支出の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金取崩	0	0	0	
2. その他支出	0	0	0	
当期支出合計 (C)	0	0	0	
当期収支差額 (A)-(C)	9,471,402	8,593,309	878,093	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	93,498,451	83,922,142	9,576,309	

(積立金別の支出明細)

(単位：円)

科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金取崩	0	0	0	0	0
2. その他支出	0	0	0	0	0
当期支出合計 (C)	0	0	0	0	0
当期収支差額 (A)-(C)	2,000,630	7,015,400	11,100	102,270	342,002
次期繰越収支差額 (B)-(C)	6,012,642	75,093,401	7,099,454	594,209	4,698,745

“私立獣医学校発祥之地” 記念碑見学会を開催

平成25年7月27日、同窓会代議員会終了後記念碑の見学会を開催した。例年は、代議員会終了後に懇親会を開催していたが、多くの会員が護国寺へ足を運ぶ機会が無いだろうと計画を変更して催行した。当日は、理事・代議員など希望者約60名が参加、観光バス2台を貸し切り午後3時半に母校を出発し護国寺へ向かった。護国寺には、4時半頃到着し見学と記念撮影を行い、護国寺の休憩室で喉を潤したのち齋場にて貫首様のお話を頂いた。護国寺で解散する頃には雲行きが怪しくなり、東京は夜に激しい雨となった。



護国寺休憩室にて



←参加者の記念写真

事務局だより

事務局の表さんが、12月をもって退職。1月から野々宮さんが勤務します。経験不足等を考慮していただき、よろしく御指導・御協力の程お願いします。

この会報は、登録されている最新情報の住所にお送りしています。受け取っていない会員がおりましたら本部事務局へ住所登録をしようお伝えて下さい。

○同窓会本部への連絡

通常、土・日・祝日を除く午前10時から午後4時（昼休み12時～1時を除く）まで事務員が勤務しています。留守番電話、ファクシミリ、郵便、Eメール等にもご連絡できます。連絡先は本会報一面に記載してあります。

○会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費納入によって運営されております。本会報に払込取扱票が同封されている方は、個人で会費納入をお願いします。なお、払込取扱票が同封されていない場合は、支部の指示に従って納入をお願いします。郵便局での振り込み払込取扱票にはお忘れなく郵便番号、住所、氏名を記載し、通信欄には卒業学科と卒業

期(封筒の住所ラベルの区分)を記載してください。住所等変更のある方は払込取扱票の通信欄記載の変更有りに丸印してください、本部事務局の登録変更を致します。

○本部年会費一括納入支部へのお願い

本部会費を一括納入される支部は、会費納入者名簿(区分を明記して)を事務局へ郵送、ファクシミリ、Eメールでお送り下さい。

○母校創立130周年記念の同窓会誌29号が発刊されました

同窓会では、母校創立130周年を記念して82頁におよぶ同窓会誌を、平成25年8月に発刊しました。今までにない同窓会の詳細な歴史は母校・学校法人日本医科大学との関係についても記載されています。創立130周年関連事業は写真集としました。



また、母校の懐かしい写真から現在に至る写真での変遷やそのほか付属施設、武蔵境の今昔、支部の活動報告、同窓会会則も掲載されています。

同窓の記念的な歴史記録として

永く保存してください。なお、住所変更などで本誌が未だお手元に届いてない方は、同窓会事務局まで連絡願います。

○住所録変更届け

市町村名・番地等の変更で、会誌や会報の返却数が増加しています。

平成26年度は、会員名簿発行の年です。住所、氏名、職業等の変更はハガキ、ファクシミリ、Eメール、同窓会ホームページなどから変更届けをご提出ください。

電話での連絡は記載ミスなどの要因となりますので、遠慮ください。登録変更は原則として本人申告となっていますが、支部、同期会、友人からの届け出も申告者が明記されている場合は受け付けます。

○次に該当される方は本部へご連絡ください

他大学で博士号、修士の学位を

授与された方。国会議員、市町村長、県議会議員等に選出・再選された方。叙勲を授与された方、ご逝去された方など。情報提供者を特定できるよう電話以外にてご連絡下さい。

支部会、合同地区同窓会、同期会など開催されましたら、その報告と写真を本部へお送り下さい。極力会報に掲載致します。

同窓会関係情報

(本部に届け出のみを掲載)

○叙勲者

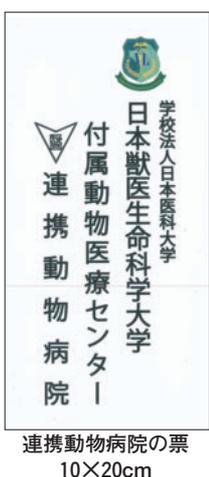
- 藤ヶ谷敏明氏 (大学獣医学科1期、平成22年春 瑞玉双光章)
- 青木 和男氏 (大学獣医学科13期平成24年秋 瑞玉小綬章)

○訃報

- 宮澤 壽廣氏 (和歌山県支部長・専門7期、平成24年2月逝去)
- 鎌田 知能氏 (千葉県前支部長・大学獣医学科14期平成25年9月逝去)

母校動物医療センターと同窓生個人病院施設との連携

小動物獣医療は、日々高度医療の進歩がめざましく、さらに専門化され個人病院での対応が厳しくなってきました。そこで、同窓生の希望も取り入れ、大学側に個人病院施設に対する支援を同窓会から強くお願いをしました。大学も受験生減少の対策を個人診療施設を介した広報活動も有効手段でないかと進言、相互の受益を考慮し「連携動物病院」票の交付の運びとなりました。その運用については意見の交換を行い、従来の予約制から前進した制度を大学と正式に確認書を作成して施行することになりました。お互いの医療向上を図る上で、役に立てればと思えますので、制度案内を一読し、申し込みして下さい。



**日本獣医生命科学大学附属動物医療センターと
地域動物医療機関との「連携動物病院制度」実施要領**

1. 目的 地域動物医療機関と日本獣医生命科学大学附属動物医療センターが相互に連携して、効率的で安心して受けられる獣医療環境の構築に努め、動物医療の充実・発展に寄与することを目的として、連携動物病院制度を創設した。

2. 医療センター役割

- (1) 紹介患者予約システムの運営
- (2) 紹介動物病院への文書管理
- (3) かかりつけ獣医師の紹介（逆紹介）
- (4) 地域動物病院への情報提供および情報交換
- (5) 診療計画書の作成（クリニカルパス）

3. 連携内容

- (1) 日本獣医生命科学大学附属動物医療センター連携動物病院の称号使用（名刺等への掲載）
- (2) 患者紹介（外来診療予約）及び医療相談
- (3) 逆紹介の案内
- (4) 研修会や講演会等の案内
- (5) 本学図書館の利用

4. 申し込み方法

確認事項を御理解頂き

- (1) 別紙申請書（申し込み次第送付）に必要な事項を記入いただき、郵送して下さい。
- (2) 手続き終了後「連携施設票」等を送付いたします。
- (3) 「連携施設票」の実費（3,000円）は同窓会銀行口座に振込お支払下さい。
- (4) 申し込み先…〒180-8602 武蔵野市境南町1-7-1 日本獣医生命科学大学同窓会事務局 月～金 午前10時～午後4時 TEL&FAX 0422-33-2916

5. 申し込みの際の注意

- (1) 本学同窓生が経営する動物診療施設及び同窓会会費を納入した会員に限る
- (2) 連携動物病院の申請希望者を対象とする
- (3) 連携動物病院の称号の授受に伴う権利や義務は発生しない

6.

- (1) 「連携施設票」の返納
- (2) 開業を取り止めた時
- (3) 獣医師法の違反等で監督官庁より処分された時

（連携内容のお問い合わせ）

日本獣医生命科学大学附属動物医療センター 専用予約係
TEL&FAX 0422-31-3006

学校法人日本医科大学、日本獣医生命科学大学
附属動物医療センター連携施設票の交付に関する確認事項

一、交付する票の名称は、学校法人日本医科大学、日本獣医生命科学大学附属動物医療センター連携施設とする。

一、交付の目的は、学校法人日本医科大学、日本獣医生命科学大学附属動物医療センター及び連携施設の獣医療環境改善に努め、動物医療の充実・発展に努める。

一、交付の対象は、本学同窓生の経営する動物診療施設に限定する。

一、本票の授受に伴う権利及び義務は一切発生することはない。

平成二十五年十一月吉日

学校法人日本医科大学
日本獣医生命科学大学
学 長 池 本 卯 典
同窓会長 中 條 眞 二 郎

母校へ屋外型掛け時計を寄贈

平成 24 年 10 月 17 日に執り行われた、母校発祥の記念碑除幕建碑式の参加者へ記念品を贈る計画をしたが、その予算で母校に大時計を寄贈することになった。母校の屋外型掛け時計は、D 棟東側に取り付けられていたが、東側に C 棟が建設されたため見る機会が少なくなった。そのため大学が希望する場所に設置することになった。平成 25 年 10 月 14 日に工事が完成し、キャンパス広場に向した、D 棟北側に取り付けられた。学校法人日本医科大学理事長より中條会長宛に受領書とともにお礼状が届けられた。また、池本学長からは感謝状が中條会長に贈られた。



工事中の大時計



D 棟に取り付けられた時計（紫雲の時と命名）

母校近状

■ 教員人事（平成 24 年 12 月 1 日から平成 25 年 11 月 20 日）

庶務課

○ 新任（平成 25 年 4 月 1 日付）

教授

中山 勉（農産食品学）

吉田 充（食品安全学）

准教授

有村 裕（動物生体防御学）

講師

入交 眞巳（獣医臨床病理学）

桑原 考史（食料自然共生経済学）

助教

樺山 実幸（獣医解剖学）

五十嵐亜紀（獣医放射線学）

助手

清水 孝一（付属動物医療センター）

久保 喜昭（付属動物医療センター）

神野 信夫（付属動物医療センター）

○ 新任（平成 25 年 4 月 1 日付）

特任教授

今井 壯一（獣医学部）

○ 新任（平成 25 年 5 月 1 日付）

特任教授

山田 裕（獣医学部）

○ 再任（平成 25 年 10 月 1 日付）

特任教授

清水 一政 (獣医学部)
吉村 史朗 (獣医学部)
○昇任 (平成25年4月1日付)

池 和憲 (獣医寄生虫学)
准教授
田中 良和 (獣医衛生学)

片山 欣哉 (生体分子化学)
水越 美奈 (獣医保健看護学臨床部門)
岡田幸之助 (動物生殖学)

藤平 篤志 (実験動物学)
講師

大石 元治 (獣医解剖学)
氏家 誠 (獣医感染症学)
百田 豊 (獣医保健看護学臨床部門)
中尾 暢宏 (動物生理制御学)

○退職 (平成25年3月31日付)
講師
根津 欣典 (獣医外科学)

○定年退職 (平成25年3月31日付)
教授
今井 壯一 (獣医寄生虫学)

多川 政弘 (獣医外科学)
麻生 慶一 (農産食品学)

○名誉教授の称号授与 (平成25年4月1日付)
教授
齊藤 賢一 (食品健康環境学)

今井 壯一
多川 政弘
麻生 慶一

学位(博士)取得者

学位(博士)取得者一覧 (平成23年7月～平成24年11月)

学位記番号	氏名	学位授与年月日	所属教室
博獣甲第146号	Mohamed Mahdi Alshahni	平成24年3月12日	獣医衛生学
博獣甲第147号	桑原 孝幸	平成24年3月12日	獣医放射線学
博獣甲第148号	Pudcharaporn Kromkhun	平成24年3月12日	比較動物医学
博獣甲第144号	宗俊 俊太郎	平成24年3月12日	獣医外科学
博獣甲第145号	吉村 久志	平成24年3月12日	獣医病理学
博獣甲第146号	森 伸子	平成24年3月12日	獣医生理化学
博獣乙第304号	藤間 昭勝	平成24年1月27日	獣医公衆衛生学
博獣乙第305号	嶋田 ちひろ	平成24年2月24日	獣医公衆衛生学
博獣乙第306号	Wirasak Funghuang	平成24年3月12日	比較動物医学
博獣乙第307号	斯欽 高娃	平成24年3月12日	比較動物医学
博獣乙第308号	濱部 浩一	平成24年3月12日	運動科学
博獣乙第309号	増田 弘行	平成24年3月12日	獣医外科学
博獣乙第310号	山根 哲也	平成24年3月12日	獣医解剖学
博獣乙第311号	荒井 延明	平成24年11月26日	獣医外科学

【応用生命科学学専攻 博士後期課程】

学位記番号	氏名	学位授与年月日	所属教室
博応乙第1号	鄭 眞淑	平成24年3月12日	動物栄養学

学位(博士)取得者一覧 (平成24年12月～平成25年10月)

学位記番号	氏名	学位授与年月日	所属教室
博獣甲第153号	石野 寛和	平成25年3月13日	獣医外科学
博獣甲第154号	武光 浩史	平成25年3月13日	獣医生化学
博獣甲第155号	田村 勝利	平成25年3月13日	獣医外科学
博獣甲第156号	寺門 邦彦	平成25年3月13日	獣医外科学
博獣甲第157号	宮田 拓馬	平成25年3月13日	獣医外科学
博獣乙第312号	大西 守	平成25年3月13日	獣医衛生学
博獣乙第313号	霍野 晋吉	平成25年3月13日	比較動物医学
博獣乙第314号	米澤 寛	平成25年3月13日	獣医外科学
博獣乙第315号	吉村 史朗	平成25年9月27日	獣医公衆衛生学

【応用生命科学学専攻 博士後期課程】

学位記番号	氏名	学位授与年月日	所属教室
博応甲第2号	平井 潤子	平成25年3月13日	動物生理制御学
博応甲第3号	土橋 悠	平成25年3月13日	実験動物学

お詫び
第43号の編集上の手違いにより、一昨年の学位取得者が掲載されませんでした。改めて記載し、お詫び致します。

平成25年度学生表彰
学長賞他受賞者

代表者種別	学科	学年	氏名
学長賞	獣医学科	6年	赤津 佳菜子
学長賞	獣医保健看護学科	4年	兼田 裕希
学長賞	動物科学科	4年	石井 春加
学長賞	食品科学科	4年	土屋 りえ
社)日本獣医師会褒章	獣医学科	6年	鷗飼 正保
同窓会長賞	獣医学科	6年	濱野 万由
同窓会長賞	獣医保健看護学科	4年	加藤 真理子
同窓会長賞	動物科学科	4年	蛭名 良充
同窓会長賞	食品科学科	4年	安西 めぐみ

平成24年度学生表彰
学長賞、公益社団法人日本獣医師会褒賞、同窓会長賞は最終学年を対象として選出され、武蔵野賞は各学年から選出される。授与は最終学年は学位記授与式にて表彰され、在学生は入学式にて表彰された。

武蔵野賞受賞者

動物科学科	4 年	田島 広大
動物科学科	4 年	勝又 彩
動物科学科	4 年	森山 雄太
食品科学科	2 年	川島 彩
食品科学科	2 年	西塚 菜穂子
食品科学科	2 年	森 名丘
食品科学科	3 年	洲合 千尋
食品科学科	3 年	松本 莉沙
食品科学科	3 年	高久 未樹
食品科学科	4 年	宮本 友香
食品科学科	4 年	白倉 敏子
食品科学科	4 年	栗田 裕己

獣医保健看護学科	2 年	松永 惟
獣医保健看護学科	2 年	梅津 萌子
獣医保健看護学科	2 年	近藤 真由香
獣医保健看護学科	3 年	小林 菜結
獣医保健看護学科	3 年	杉浦 奈都子
獣医保健看護学科	3 年	松尾 真希子
獣医保健看護学科	4 年	石田 美保
獣医保健看護学科	4 年	青木 幸奈
獣医保健看護学科	4 年	平松 朋子
動物科学科	2 年	高橋 菜摘
動物科学科	2 年	沼田 歩美
動物科学科	2 年	鳥居 奈央
動物科学科	3 年	安田 紗紀恵
動物科学科	3 年	金子 一規
動物科学科	3 年	山田 萌

獣医学科	2 年	田中 菜都子
獣医学科	2 年	釣田 奈菜恵
獣医学科	2 年	池田 悠真
獣医学科	3 年	藤原 万里子
獣医学科	3 年	池田 紘子
獣医学科	3 年	目澤 咲綾
獣医学科	4 年	林 麻央
獣医学科	4 年	齋藤 那美香
獣医学科	4 年	西村 友璃
獣医学科	5 年	羽原 誠
獣医学科	5 年	岡元 千明
獣医学科	5 年	古山 裕樹
獣医学科	6 年	戸上 絵理
獣医学科	6 年	上原 裕司
獣医学科	6 年	竹下 恭平

■平成24年度卒業生就職状況

キャリア支援センター

平成23月7月にキャリア支援センターが設立され、2年半が経ちました。この間、教職員の協力のもと、学生への進路指導の充実を図り、キャリア教育の効果が表れ学科別に次の通り就職成果となりました。学科別の就職内定率ですが、獣医学科94・5%、獣医保健看護学科97・4%、動物科学科95・0%、食品科学科94・7%とこの就職難の中、各学科とも高い内定率を獲得できました。各学科別の内訳ですが、獣医学科では就職者のうち、本学の特徴でもある小動物医師が58・3%と高くこの数年一定した割合です。また、公務員獣医師を目指す学生の比率も14・3%と高くなり、農林水産省・地方公務員の道に進んでいます。獣医保健看護学科では就職者のうち、動物病院看護師が48・8%と昨年比8・8%増と上昇しました。その影響で、医薬品・食

品・検査業界に就職した学生が30・4%と7・2%減少しました。特殊法人・公務員・教育関係は8・5%とほぼ例年の数字となっています。動物科学科では、畜産系への就職率が下がり、動物をテーマにした多様な就職先に広がりを見せています。就職者のうち、動物実験・治験検査関係で20・5%と高い比率を示し、食品製造・外食関連で17・6%、農業団体・動物園含む特殊法人で8・8%など職種への偏りがなく就職しています。食品科学科では食品製造業が根強く人気傾向ですが、今年は就職者のうち、9・9%と年々その比率が低下傾向にあり、変わって食品流通業の商社・卸、外食産業などのフードサービス関連が23・9%、食品衛生学が活かせる検査分析・衛生業などに就く比率が高まりました。今後も本学の最大の武器である獣医学をベースとした知識・技術の強みを継承しつつ、新しい業界での活躍の場を求め、各界のリーダー候補を輩出していきます。

■平成24年度の獣医師国家試験の結果

獣医学科長 河上 栄一

平成24年度の獣医師国家試験(第64回)は、今年の2月19日・20日の2日間、北海道・東京・福岡の3箇所の会場で実施された。東京の会場としては、江東区にあるTOC有明ビルが利用された。現在、獣医師国家試験は、必須問題50問、学説試験160問、実地に関する試験120問とし、多肢選択方式(マークシート)によって行われている。第1日目に必須問題試験と学説試験が実施され、第2日目に実地試験となる。

全国の大学の試験結果は表に記載されているように、平成24年度の本学学生の獣医師国家試験(第64回目)合格率は、94・3%と、全国16大学の獣医学科で第6位の合格率であった。その第1位は、岐阜大学・山口大学・宮崎大学の100%でしたが、これらの大学の受験者数はわずか30〜33名と少なく、本学の場合、受験者数88名中83名の学生が合格できたわけであり、私立5大学の中では第1位で、良い結果であったと感じています。また、第61回・第62回および第63回の獣医師国家試験においても、本学学生の合格率は、それぞれ98・9%、

90・5%および98・9%と、この4年間90%以上の合格率を維持している。

本学では、教員による獣医師国家試験対策委員会があり、獣医学科長・6年生の担任・5年生の担任を含め、20名の獣医学科教員がこの委員会の委員となつて、獣医師国家試験の勉強に励む6年生をサポートしています。さらに、この委員会とは別に、獣医学教育促進室が設置されており、国家試験対策の一部を担っている。6年生は、夏期休暇明けの9月末から、約10名ずつの小グループに別れて、国家試験勉強に専念します。10月上旬からは、国家試験対策を主な目的とする「総合獣医学」と称する講義が始まり、11月下旬までの毎日、各科目担当の先生によって専門科目の講義が実施され、6年生は国家試験勉強に必要な知識を再確認することができる。また、国家試験のトレーニングを目的に、11月下旬と1月下旬に国家試験の模擬試験を学内で実施している。この模擬試験の点数等を参考にし、学生は、不足している箇所を認識し、最終的な試験勉強に取り組むことができる。これらの様な国家試験対策を今年度も実施して、6年生のサポートを行っており、6年生は、日々、勉学に励んでいるので、平成25年度の第65回 獣医師国家試験（平成26年2月18日・19日に実施）の合格率も、良い成績となる事を、確信している。

大学別獣医師国家試験の結果

Table with 14 columns: 区分, 大学名, 第64回(平成24年度) [受験者数, 合格者数, 合格率], 第63回(平成23年度) [受験者数, 合格者数, 合格率], 第62回(平成22年度) [受験者数, 合格者数, 合格率], 第61回(平成21年度) [受験者数, 合格者数, 合格率]. Rows include various universities like 北海道大学, 帯広畜産大学, etc., and summary rows for 新卒別, 既卒者, 受験資格認定者, 予備試験合格者, and 合計.

平成25年度 第29回学術交流会について

学術交流会実行委員長 左向敏紀

第29回日本獣医生命科学大学学術交流会は、平成25年11月9日(土) 本学教育棟で開催された。平成24年度梅野信吉賞受賞者である小林史幸助教(食品工学)による特別講演の他、5つのテーマによる講演が行われた。

基礎・応用分野から「動物の問題行動を科学する」として榊山実幸助教(獣医解剖学)、横須賀誠准教授(比較動物医学)、入交真巳講師(獣医臨床病理学)、水越美奈准教授(獣医保健看護学臨床部門)、および「日本の食の安全と安心を考える」として栗本まさ子客員教授、吉村史朗特任教授、吉田充教授(食品安全学)、永松美希教授(食料自然共生経済学)の講演が行われた。

臨床フォーラムは、「二次診療施設からのメッセージ」として病院の安田暁子助手、鳴原果映助手、弥吉直子、澤田治美助手、および「基本は外さない!」として藤田道郎教授(獣医放射線学)、竹村直行教授(獣医内科学第二)の講演が行われた。動物看護学卒業講習は、「獣医師と動物看護師との架け橋」と銘打って、皆上大吾

講師（獣医保健看護学臨床部門）、左向敏紀教授（獣医保健看護学臨床部門）、百田豊講師（獣医保健看護学臨床部門）、松原孝子講師（獣医保健看護学臨床部門）、神谷新司教授（獣医保健看護学応用部門）の講演が行われた。

一般の発表は38題があり、5題の優秀賞が選ばれた。なお参加者は302名と大変多く、各会場とも熱心な議論が行われた。

学術交流会終了後、生協食堂「むらさき」で優秀賞の褒賞が行われたあと懇親会が行われた。

平成26年度の学術交流会は合同教育棟の完成を記念して、合同教育棟での開催が予定されている。多くの先生、同窓生および学生のご参加をお願い申し上げます。次第である。



学術講演会会場

平成24年度 梅野信吉賞受賞者決定

選考委員長 獣医学部長

新井敏郎

平成24年度梅野信吉賞は食品工学科の小林史幸助教に決定した。

小林先生は平成19年3月に広島大学大学院生物生産システム研究科博士課程を修了し（生物生産学博士を取得）、その後、明治大学研究・知財戦略機構でポストドクターとして研究に3年間従事し、平成22年4月に本学応用生命科学部食品科学科に助教として着任した。この間、食品の殺菌に関する研究を続け、その内容が高く評価され今回の受賞となった。梅野信吉賞受賞テーマは「マイクロバブル化した加圧二酸化炭素による食品の殺菌・酵素失活に関する研究」であった。研究の概要は以下のとおりである。

【概要】通常、消費者のもとに届く食品は、通常、加熱による殺菌・酵素失活処理を施すことで安全性や保存中の品質が保たれているが、熱による品質低下は否めない。食品の殺菌・酵素失活の理想は、いかに品質低下を招かずに安全性を確保するかということである。そこで、数十気圧下で二酸化炭素ガスを50ミクロン以下の微小な気泡（マイクロバブル）にして液体食品中に供給することで品質低下を招かずに食品

の殺菌・酵素失活を可能にする技術を開発した。この二酸化炭素マイクロバブル技術により、清酒の品質劣化を引き起こす火落菌ならびに酵素を失活させ、清酒の品質を非常に良好な状態で維持することに成功した。現在は、二酸化炭素マイクロバブルを清酒製造時における殺菌・酵素失活技術として実用化するために酒蔵メーカーとの共同研究ならびに二酸化炭素マイクロバブル技術の殺菌メカニズムを解明するための基礎研究を進めている。

梅野信吉賞の授賞式は、平成25年4月の本学入学式の中で行われ、池本卯典学長から賞状と副賞（同窓会贈呈）が贈られた。

また、本年11月9日に本学を会場として開催された第29回日本獣医生命科学大学学術交流会において受賞記念講演が行われ、多くの同窓生、教員、学生を前に先生の優れた研究内容が披露された。

平成24年度 入学試験結果

教務・学生課

日本獣医生命科学大学では平成25年度入学試験において、僅かながら志願者数を伸ばしている。

18歳人口と大学（短大を除く）への入学者数・進学率等の推移から、近年、進学率の上昇をもって、18歳人口の減少をカバー

している状態が続いている。50%に届くほどの進学率から、さらなる上昇は期待できず、わが国の合計特殊出生率から少なくとも今後18年間は18歳人口が増えることはない。

このように本学を含む高等教育機関を取り巻く環境は非常に厳しく、平成26年度以降も大学教職員そして同窓生が一丸となって、質の良い後輩の確保に努めることが必要となる。

平成25年度入学試験では、札幌及び広島試験会場を廃止し福岡を追加した。獣医学科は東京・大阪・福岡の3会場から、獣医学科を除く3学科は東京・大阪・仙台・福岡の4会場からの選択となる。

獣医保健看護学科及び食品科学科に編入学試験（入学年次は2年次又は3年次）、食品科学科にセンター試験利用入学試験（第2回）を導入した。

平成26年度入学試験では、獣医学科の編入学試験（学士）〔入学年次は2年次〕を廃止し特別選抜入学試験（学士）〔入学年次は1年次〕を導入した。獣医学科を除く3学科では、一般入学試験（第2回）における併願を可能とした。また、入学検定料を従来の金融機関窓口（郵便局を除く）だけでなく、Webでのクレジットカード利用及びコンビニエンスストアでの払い込みを可能とした。

平成25年度入学試験結果

平成25年度地区別入学者数

学部	学科	試験区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率		
				H25	H254	H25	H254	H25	H254	H25	H254	
獣医学部	獣医学科	[推薦]	一般公募推薦	90	99	88	95	24	24	3.67	3.96	
		[特別選抜]	社会人	4	6	4	5	0	1	—	5.00	
			帰国子女	4	1	4	1	1	1	4.00	1.00	
			獣医師後継者育成及び地域獣医療支援	12	18	12	18	5	4	2.40	4.50	
			センター試験利用入試	639	630	636	630	34	47	18.71	13.40	
			一般入学試験 (第1回)	1,103	927	1,098	927	104	101	10.56	9.18	
			一般入学試験 (第2回)	469	463	413	415	25	19	16.52	21.84	
		[編入学]	学士	30	38	30	38	3	2	10.00	19.00	
			合計	2,351	2,182	2,285	2,129	196	199	—	—	
			学部合計	3,091	2,952	3,017	2,887	408	380	—	—	
獣医保健看護学部	獣医保健看護学科	[推薦]	一般公募推薦	79	83	79	82	28	30	2.82	2.73	
			センター試験利用入試	212	219	212	219	54	41	3.93	5.34	
			一般入学試験 (第1回)	389	406	385	396	119	101	3.24	3.92	
			一般入学試験 (第2回)	60	62	56	61	11	9	5.09	6.78	
			合計	740	770	732	758	212	181	—	—	
			学部合計	3,091	2,952	3,017	2,887	408	380	—	—	
応用生命科学部	動物科学科	[推薦]	一般公募推薦	27	40	27	40	25	27	1.08	1.48	
			指定校推薦	1	2	1	2	1	2	1.00	1.00	
		[特別選抜]	帰国子女	1	0	0	0	0	0	—	—	
			センター試験利用入試	175	210	175	210	41	20	4.27	10.50	
			一般入学試験 (第1回)	433	474	424	463	157	158	2.70	2.93	
			一般入学試験 (第2回)	108	54	99	44	6	27	16.50	1.63	
		合計	745	780	726	759	230	234	—	—		
	食品科学科	食品科学科	[推薦]	一般公募推薦	29	19	29	19	14	16	2.07	1.19
				指定校推薦	17	14	17	14	17	14	1.00	1.00
			[特別選抜]	帰国子女	1	0	1	0	1	0	1.00	—
			センター試験利用入試 (第1回)	133	136	133	20	18	3	7.39	6.67	
	センター試験利用入試 (第2回)	6	—	6	—	1	—	6.00	—			
	一般入学試験 (第1回)	276	263	266	256	113	116	2.35	2.21			
	一般入学試験 (第2回)	59	60	51	50	6	6	8.50	8.33			
[編入学]	編入学	1	—	1	—	0	—	—	—			
	学士	1	—	1	—	1	—	1.00	—			
	合計	523	492	505	359	171	155	—	—			
	学部合計	1,268	1,272	1,231	1,118	401	389	—	—			
	総合計	4,359	4,224	4,248	4,005	809	769	—	—			

学部	学科	地区	入学者数
獣医学部	獣医学科	北海道	0
		東北	0
		関東甲信越	77
		北陸	1
		東海	1
		近畿	8
		中国	3
		四国	2
		九州・沖縄	3
		その他	1
獣医保健看護学部	獣医保健看護学科	北海道	0
		東北	0
		関東甲信越	84
		北陸	1
		東海	6
		近畿	4
		中国	2
		四国	1
		九州・沖縄	1
		その他	1
応用生命科学部	動物科学科	北海道	0
		東北	3
		関東甲信越	83
		北陸	0
		東海	8
		近畿	2
		中国	0
		四国	1
		九州・沖縄	3
		その他	0
応用生命科学部	食品科学科	北海道	0
		東北	0
		関東甲信越	86
		北陸	1
		東海	0
		近畿	1
		中国	0
		四国	0
		九州・沖縄	0
		その他	1

平成25年度入学者数	
獣医学科	96名
獣医保健看護学科	100名
動物科学科	100名
食品科学科	89名
合計	385名

※ 編入学・編入学(学士)を除く



池本学長の祝辞

午後からの大学院学位記授与式では、獣医学専攻博士課程修了者及び論文審査合格者10名、獣医保健看護学専攻博士前期課程修了者8名、応用生命科学専攻博士前期課程修了者及び博士後期課程修了者13名の合計31名に学位記が手渡された。

■平成24年度 学位記授与式

学生支援センター

平成25年3月13日(水) 午前10時から、
日本獣医生命科学大学「平成24年度学位記

授与式」がアリーナ(体育館)において挙行された。
午前中に学部、午後には大学院の授与式がそれぞれ行われた。

午前中の学部学位記授与式では、獣医学科89名、獣医保健看護学科98名、動物科学科78名、食品科学科78名の合計343名に学位記が手渡された。

■平成25年度 入学式

学生支援センター

平成25年4月5日(金) 午前10時から
「日本獣医生命科学大学入学式」がアリーナ(体育館)において挙行された。

獣医学専攻博士課程5名、獣医保健看護

学専攻博士前期課程5名、同後期課程1名、応用生命科学専攻博士前期課程9名、同後期課程2名、獣医学科96名、獣医保健看護学科100名、動物科学科100名、食品科学科89名、獣医学科学士編入生3名、食品科学科学士編入生1名の合計411名が入学した。



入学式会場

■平成25年度 日獣祭

学生支援センター

平成25年11月2日(土)、3日(日)に
本学において、第64回日獣祭が開催された。

晴天に恵まれ、初日2、163名、2日
目3、324名、合計で5、487人もの
来場者があった。

日獣祭実行委員が半年かけて準備を行っ
てきた数々の催し物、研究室やクラブ・
サークルの展示、音楽系サークルの演奏等
大勢の来場者の前で披露された。



学術展示会場



大学祭正面入口



イベント会場



大学祭発表会



ペット連れの人たちも

■平成25年度 動物慰霊祭を挙

庶務課

10月31(木)正午より本学「仁畜の碑」前にて、平成25年度動物慰霊祭が、無宗教献花方式をもってしめやかに執り行われた。開式の言葉に

続き黙祷が捧げられ、続いて池本卯典学長より「本日はあらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」、学生代表鈴木清文学友会会長より「動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れない」とのそれぞれ追悼の言葉が述べられた。

池本学長、田中大学院獣生命科



献花する参加学生

学研究科長、神谷獣医保健看護学科長、天尾動物科学科長、小山動物医療センター院長、左向牧場長、池田生命科学共同研究施設長、鈴木動物実験委員会委員長、鈴木学友会会長の指名献花の後、教職員、学生等約300名の参列者が献花し、動物達の冥福を祈った。

■平成25年度 体育祭

学生支援センター

平成25年11月13日(水)、秋晴れの中、武蔵野陸上競技場において体育会クラブや研究室を中心とした学生約300名が参加し開催された。

各チームとも日頃の成果を発揮するべく各種目に熱心に取り組んでいた。

←表彰式



つなひき



←騎馬戦

合同教育棟(仮称)の建設進捗状況

施設管理課

合同教育棟(仮称)建設工事は、平成24年7月14日に地鎮祭が挙行され、7月18日より工事が着手された。

準備工事を経て、9月より本格的に工事が始まり、山留工事、根伐工事、基礎底盤コンクリート打設と進み、平成25年1月下旬より本学では初めてとなる免震構造の装置が設置された学舎である。

その後、建物本体の躯体工事へと移り、11月下旬現在で7階の壁および屋上階床部分のコンクリート工事が施工された。12月中旬には、屋上階のコンクリート工事が完了した。また、12月18日に法人関係者および工事関係者にて、略式の上棟式が開催された。

内装工事についても地下1階の武道場を含む運動施設、動物実験施設より順次進められている。内装工事完了後に行政の諸検査等を経て、平成26年3月14日に、引渡しを受ける予定である。

3月17日から新規備品什器などの教育研究機器が据え付けられた後、獣医保健看護学科・動物科学科・食品科学科の3学科および学長室を含む事務管理部門等の引越

しを予定している。また、同時期に日本医科大学の基礎科学課程が新丸子より移転してくる。

合同教育棟(仮称)は、災害に強い建物であり、不測事態にもライフラインが確保

され、両大学の学生が安心して教育・研究ができる施設となる。また、学生間の交流も盛んとなり、武蔵境キャンパスはより賑やかになるでしょう。



南側道路より見た完成図

新年に回想

日本獣医生命科学大学学長 池本 卯典



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。本年も何卒よろしく御指導下さい。

昨年師走の7日、武蔵境駅北口が開門しました。南口と同様に緑の門《武蔵境駅》その門を抜けるとスキップ通り、道路は広くないが整った商店街、並立したビルの1・2階は殆ど商店であり、三鷹や吉祥寺に出掛けなくても欲しい物は揃い、満腹、満喫できます。

反対には昨年新設開門した武蔵境駅南口、駅前には緑濃い大ロタリー、正面は5階のイトーヨーカ堂東館、道路を隔て左に西館、東京西都では売上げ1位のスーパーとか。街並みは北口に

勝る巨大な高層建築群、まさに駅前高級マンション街。昭和30年中期までは南口無き武蔵境駅でした。北口で下車して右に、さらに右折して開かずの踏切。授業開始のベルを踏切手前で聞き、シャッターを無理に潜り抜け駅員の警笛と怒り声を同窓生の皆様は経験されたことでしょうか。

武蔵境は東京西都の文教地区といわれています。かつては日本獣医畜産大学、亜細亜大学、武蔵野女子大学（現在は武蔵野大学）が近郊の3大学、近年、武蔵境駅を下車駅とする大学は国際基督教大学、電気通信大学、東京外国語大学、ルーテル学院大学、日本赤十字看護大学、東京神学大学などを加え9大学があります。それに、明年春からは日本医科大学の基礎医学課程の114人も加わります。

学校といえ、昨今の教育再生会議における話題は6・3・3制改革論、しかし現状は相変わらず小学校、中学校、高等学校は18才まで、高等学校を終えると約800の大学が18才人口の約50%を吸収し、大学以外に専門学校、各種学校なども入学生を待っています。大学院は大学数と比例し、年毎に院生数は増えています。

さて、日本獣医畜産大学当時には附属高等学校として武蔵境高等学校が併

設されていたことをご存知でしょうか。史実によると、昭和23年2月20日に認可され、4月1日から授業を開始。目的は、地域社会の要請に応え勤労青少年に広く教育の機会を与えることであり、修業年限4年の定時制高等学校でした。

裏事情によると、新制大学に昇格する1年前、当時の日本獣医畜産専門学校は、入学生数は減少傾向にあり、学校経営に難渋され教員給与の補填対策でもあったようです。もう少し詳しく述べさせて下さい。本学の百年史によると《武蔵境高等学校は日本獣医畜産専門学校当時の昭和23年に併設され、大学昇格後、また日本医大と合併後も法人の下に併置された。しかし昭和31年度から「近接地区の都立高等学校（武蔵高等学校）にも定時制が付設され、私立学校である本校への入学志願者が漸減した」などの理由により生徒の募集を停止して現在にいたった。

昨年度から新たに日本衛生技術専門学校を開設したこともあり、同一施設内に2つの学校が存在することにもなるため、昭和42年9月理事会ならびに評議員会において、(1)昭和42年9月30日をもって武蔵境高等学校を廃止する。(2)廃止に伴い寄附行為第4条中の「武蔵境高等学校」の字句を

削除する。そのことを全教員異議なく承認決定し、同年10月27日同校の廃止認可申請書を東京都知事宛に提出、翌43年3月27日付で文部大臣の認可を得た。

『廃止の理由』本校は昭和23年地域社会の要請に応え、勤労青少年に広く教育の機会を与える目的をもって開設したが、その後、近接地区の都立高等学校にも定時制が付設され、私立学校である本校への入学志願者は漸減し、昭和31年度から募集を停止し現在に至っている。

ちなみに武蔵境高等学校の卒業者は、第1回昭和25年3月・83名、第2回昭和26年3月・63名、第3回昭和27年3月・67名、第4回昭和28年3月・47名、第5回昭和29年3月・35名、第6回昭和30年3月・37名、第7回昭和31年3月・22名、第8回昭和32年3月・24名の合計378名であった。なお、昭和32年3月現在の残留者6名については都立武蔵高等学校の定時制に編入させた。(原文のまま)

以上の記録が百年史に残っています。私は昭和32年4月の学士入学ですが、本館入口に掲示されていた『日本獣医畜産大学』と『武蔵境高等学校』の標札を記憶しています。

武蔵境高等学校最終年度の卒業生も

年齢は80才近くになられたでしょう。なんとか1人でも探して当時の様子を伺いたいと考えているところです。

獣医畜産専門学校は昭和24年に新教育制度の日本獣医畜産大学として新発足、平成18年には日本獣医生命科学大学と大学名を変更し、2学部4学科、学生定員1,600名の複合大学となりました。

その間の昭和27年に合併した学校法人日本医科大学の支援を受け、大学の形は大きく変り、幸い学生も順調に育ち、愛校心に溢れ(大学ランキング2013・第1位)、就職力、国家試験合格力なども強化され、教職員の生産性も向上しました。課題は『大学の品格』を如何に創るか、残された期間における私の使命と考えている次第です。

なお、明春から日本医科大学医学部基礎医学課程114名が武蔵境キャンパスに合流します。獣医学部、応用生命科学部、医学部(1年生)が共に学び、清冽で和やかな武蔵境キャンパスの構築を、教職員、学生、父母会、同窓会そして日本医大の皆様と協力して創り上げ、発展させたいと念願して止みません。本年も何卒よろしく御支援下さい。